

# 日本語教科書における 連体修飾節の例文分析

中 島 紀 子

## 1. はじめに

日本語の非母語話者が日本語を学習する場合（日本語に限らず外国語学習に言えることではあるが）、日本語の教科書や参考書などに頼ることが多い。また、指導する側も教科書を使うことで、適切なカリキュラムを設計し教科書の並びに沿って初級から文法項目を積み上げ、または教えるべき項目を易しいものから難しいものへと体系的に積み上げて教育ができる。そこで学習者の理解の手助けをするのが、教科書に選ばれる例文の適切さ、さらに日本語教師（日本語教員という呼び方もあるが、ここでは「日本語教師」という）が補足説明をする際に提示する例文である。本稿では、日本語学習項目に取り上げられることの少ない「連体修飾節」に関して、主に教科書の例文に着目し、現職の日本語教師がどのように例文を捉えているのかも交え、理解を促すことのできる例文について考察する。

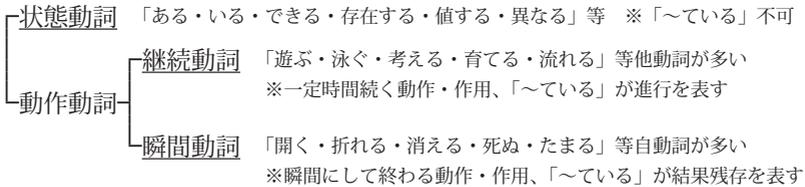
## 2. 日本語動詞のアスペクト

日本語教科書の例文分析に入る前に、連体修飾節に深くかかわる、日本語動詞の特徴とアスペクトに関して、先行研究をとおして確認する。

### 2-1 動詞の分類

金田一（1950）によれば、日本語動詞は4つの類型を立てることができる。

第一種の動詞は「状態を表わす」もので、「一ている」をつけることがないのを特色とする。第二種の動詞は「動作・作用を表わす」もので、「ある時間内続いて行われる種類である。この動詞は「一ている」をつけると、動作が進行中であることを表わす。「書く」「読む」などがこれに当たり、「状態動詞」と呼ぶ。第三種の動詞は同じく「動作・作用を表わす」動詞であるが、瞬間の作用を表わし「一ている最中だ」と言うことができない。「一ている」をつけると、その動作・作用が終って、その結果が残存していることを表わす。「死ぬ」「点く」「結婚する」「卒業する」などが該当し「瞬間動詞」と呼ぶ。第四種の動詞は第四の動詞「ある状態を帯びることを表わす」動詞で、いつも「一ている」の形で状態を表わすのに用いられ、例えば「山が聳える」の「聳える」だが、単独の形で動作・作用を表わすために用いることがないのを特色とする。金田一説の後も日本語動詞に関するさまざまな説が発表されている。本稿では以下のとおり金田一説を踏まえ、現在の日本語教育において多く採用されている4つの動詞分類の名称を使用する。



☆第四の動詞（形容詞的）「そびえている・優れている」等 ※常時「一ている」

## 2-2 連体修飾の分類

寺村（1975）では連体修飾構造のうち、修飾部たる述語（およびそれに前接する補語や副詞）と被修飾名詞が、一つの構成要素であるような関係、つまり格関係が成立しているものを「内の関係」、格関係が成立せず、何らかの説明により内容を補充しているものを「外の関係」と分類し、現在の日本語教師養成講座でも連体修飾の説明には「内の関係」と「外の関係」という用語が定着している。特に、日本語教師には以下の例文が有名である。

- 01 さんまを焼く男
- 02 さんまを焼く匂い

例文1では「男」が「さんまを焼く」に対する主格であり、「(その)男がさんまを焼く。」という文を言い換えると「さんまを焼く男」となる。一方、例文2では被修飾名詞の「匂い」は、「さんまを焼く」と格関係がない。

寺村はさらに、「外の関係」において「トイウ」が介在するものと介在しないものに分けた上で、「トイウ」が介在するものを次の4つに分類している。(例文は寺村：1977による)

①「発話、思考の名詞」とその内容

「トイウ」には「言葉」「申し出」「誘イ」「命令」「依頼」「噂」「思イ」「考エ」「想像」「期待」「意見」などの被修飾名詞が続き、修飾節にはその内容がくる。「トイウ」が介在する傾向が強い。

03 [父は] 時とするとまた非常に淋しかった。

「おれが死んだら、どうかお母さんを大事にしてやってくれ」

私はこの「おれが死んだら」という言葉に一種の記憶をもっていた。

(夏目漱石「こころ」)

②「コトを表わす名詞」とその内容

「事実」「事」「事件」「話」「結果」「運命」「宿命」「身の上」「境遇」「習慣」「風習」「癖」「建前」などの被修飾名詞が続き、「トイウ」が介在してもしなくても内容に変わりはない。

04 少納言と彼女 [紫式部] が逢った事実は、未だ発見されない。

(塩田良平「日本文学史」)

③「感覚の名詞」とその感覚の内容

感覚による認識、つまり動詞で言えば「見ル」「聞ク」「匂ウ(嗅グ)」「味ワウ」「(サワツテ) 感ジル」など、名詞で言えば「姿」「形」「色」「音」「匂イ」「味」「感覚」、さらに「絵」「写真」「光景」などは、修飾節と被修飾名詞の間に「トイウ」は入らない場合がほとんどである。

05 宮女たちが群って水を掬み、布を洗っていた姿も画のように想像できる。

(大仏次郎「飛鳥の春」)

④「相対性の名詞」とその相対概念の補充

相対性の名詞とは、「前↔後」「左↔右」「上↔下」「原因↔結果」「罪↔罰」「翌日↔(当日)↔翌日」「横↔横」「隣り↔隣り」などのように、相対的な内容

をもつことばを直ちに連想させる名詞の一群を指している。また、「トイウ」は介在しない。

#### 06 私たちが勉強ヲシテイル上デ誰カガ柔道ノ練習ヲシテイタ

以上のように「トイウ」の挿入が可能なものは概念を表わす名詞であり、「トイウ」が挿入できないものは、「姿、匂い、音、足音、感じ、恰好、表情、気配、情景、シーン」などの感覚を表わす名詞であると述べている。

### 3. 日本語教科書における連体修飾節の扱い

日本語教科書において、連体修飾節がどのように扱われているかを調べるため、文法積み上げ型の総合教科書を初級レベル、中級レベルに分けて取り上げられている例文をみていく。日本語の教科書は独自のものを作っている大学や専門学校もあるが、大学の別科や日本語学校では市販のものを活用されることが多い。だが、教科書の売り上げ冊数などは開示されていない。Amazonなどの売れ筋ランキングを見ると、文法説明書や教え方の手引き、能力試験検定用資材が人気ランキングに入っており、教科書の売り上げはランキングには反映されていない。その中でも『みんなの日本語』シリーズが比較的ランキングの上位に食い込んでいるため、本稿でも最も訳本の多い『みんなの日本語』シリーズを中心に調査対象とする教科書を決めていく。

#### 3-1 初級における連体修飾節の扱い

日本語学習者は初級の段階から連体修飾節を学ぶが、初級の教科書では、『みんなの日本語初級Ⅰ』第22課に代表されるように、概して形式的なものを定着させる文型練習に留まっている。動詞「よむ／よまない／よんだ／よまなかった」はいずれも名詞「本」を修飾する動詞の活用であり、また動詞の活用形「すんでいる／すんでいない／すんでいた／すんでいなかった」は「所」を修飾するというような練習が組まれている。7から11の例文を見てわかるように、連体修飾節中の述語部分には（「です・ます」などの丁寧形に対する形としての）普通形が使われることも学習事項として入っている。

- 07 これは女の人が読む雑誌です。  
 08 母がよく作る料理はカレーです。  
 09 わたしはパソコンを入れるかばんを買いました。  
 10 わたしは本を読む人が好きです。  
 11 わたしはテレビをみる時間がありません。

このような連体修飾節を習得することにより、以下の会話ができるようになる。

- 12 A：卒業後はどんな仕事をしたいですか。  
 B：日本語を使う仕事をしたいです。  
 13 A：これはどこで撮った写真ですか。  
 B：先週登った山で撮りました。

『学ぼう！日本語初級1』では第18課の中で「連体修飾」という項目を立て次のような例文を採用している

- 14 中国で買ったお茶はおいしかったです。  
 15 母が作ったカレーライスを食べたいです。  
 16 あしたワンさんにあげるプレゼントを買いました。  
 17 答えがわかった人は手をあげてください。  
 18 わたしが住んでいる町は海のすぐそばです。

教科書に出てくる例を一部挙げたが、初級教科書においては、「中国で買ったお茶」「母が作ったカレーライス」などのように主語と述語を含む（時として主語は省略）文が名詞にかかって修飾するものを連体修飾節として扱い、修飾節は被修飾語である名詞の前にくる語の並び順を中心に、被修飾語の前にくるという動詞の時制や動詞の活用（普通形）などを学習させている。また、2つの教科書を見る限り、例文は「内の関係」に限られている。

### 3-2 中級における連体修飾節

本稿が問題として取り扱う連体修飾節は学習者が中級になってから習い、中級レベルの教科書において初出となるものである。具体的には状態を表す「ている」は「た」で置き換えられるという文法上の規則（慣習に留まっている可能性を残す）に則った連体修飾節で、その例を調査・分析していく。

以下のとおり、タイトルに「中級」と謳われている教科書を 10 冊選び、それぞれが連体修飾節を扱っているかどうかを確認し表にまとめた。なお、連体修飾節を扱う文法参考書も比較のために 2 冊挙げる。

中級レベルの総合教科書（五十音順）	連体修飾節	という+名詞
『生きた素材で学ぶ新中級から上級への日本語』	扱いなし	扱いなし
『新日本語の中級』	扱いなし	L6 会話の練習「7.」に 形容詞的修飾あり
『中級日本語上』 『中級日本語下』	扱いなし 扱いなし	下 L14 本文に「トイウような」がある が文法としての扱いなし
『中級を学ぼう 中級前期』 『中級を学ぼう 中級中期』	L6 「6. 名詞修飾節」 L4 「4.V タ N」	トイウも同時に扱いあり 扱いなし
『テーマ別中級から学ぶ日本語（改訂版）』	扱いなし	扱いなし
『日本語中級 J501—中級から上級へ—（改訂版）』	L1 ことばのネットワーク 「2. 名詞修飾」	扱いなし
『ニューアプローチ中級日本語 [基礎編]（改訂版）』	扱いなし	扱いなし
『文化中級日本語Ⅰ』 『文化中級日本語Ⅱ（第2版）』	L6 「文型 2 名詞修飾」 L6 「表現 6. た+名詞」 扱いなし	扱いなし 扱いなし
『学ぼう！ にほんご中級』	扱いなし	扱いなし 初級 2 に L25「禁止形+トイウ意味です」 あり
『みんなの日本語中級Ⅰ』 『みんなの日本語中級Ⅱ』	L8 「3. ～た～」 扱いなし	扱いなし L14 「文法・練習 2」に「N <sup>1</sup> といった N <sup>2</sup> 」で、N <sup>2</sup> の例を複数 N <sup>1</sup> に挙げる文 法あり
『中級日本語文法要点整理ポイント 20』	L8 「名詞修飾」	トイウも同時に扱いあり
『レベルアップ日本語文法中級』	L10 「名詞修飾」	トイウも同時に扱いあり

### 3-3 教科書で取り上げられている例文

ここでは、実際に教科書に出てくる連体修飾節の例文をみていく。ただし、「Nは～トイウ意味です／～トイウことです／～トイウものではない」など表現として扱われているものを除く。

#### 3-3-1 『中級を学ぼう 中級前期』

19 うなぎを食べる習慣は「夏ばて防止にはうなぎがよい」という宣伝

コピーから生まれたと言われている。

- 20 女性専用車両は、女性の安心して電車に乗りたいという要望から生まれた車両である。
- 21 酢はアルコールから発酵してできた調味料で、アジアでは主に米から、ヨーロッパでは果物から作られている。
- 22 この料理教室は、ボランティアがこの町に住む外国人と日本人のために、国際交流できるようにという意図で作ったものである。
- 23 段ボールは、19世紀にイギリスの会社が帽子の内側についた汗を吸い取るために、開発したと言われている。

中級前期では、第6課で被修飾語名詞の内容をより詳しく示すために修飾語が使われるということのみに触れ、名詞の前にくる動詞のアスペクト・テンスなどに関する説明はない。

### 3-3-2 『中級を学ぼう中級中期』

- 24 A：この学校の校長先生はどなたですか。  
B：あの青い眼鏡をかけた方ですよ。
- 25 この町のシンボルは鉛筆の形をしたタワーだ。
- 26 この立方体は横に並んでいる2つの立体に分けて考える。
- 27 この立方体は横に並んだ2つの立体に分けて考える。
- 28 組み合わせられている円と正方形について分析しよう。
- 29 組み合わせられた円と正方形について分析しよう。
- 30 ペンケースの中に折れている鉛筆と角の欠けている消しゴムが入っている。
- 31 ペンケースの中に折れた鉛筆と角の欠けた消しゴムが入っている。
- 32 斜めに引かれている線を消せば、この図形の面積は計算しやすくなる。
- 33 斜めに引かれた線を消せば、この図形の面積は計算しやすくなる。

このように、『中級を学ぼう』では、中級前期で名詞修飾を取り上げ、中級中期に入り第4課で初めて、「ている」が「た」に代えられることを学習する。

### 3-3-3 『日本語中級 J501』

本教科書では、第1課で動詞の分類を意識した上で例文が提示されており、具体的には以下のとおりである。

次の動詞は名詞を修飾する場合、「～ている」または「～た」の形を使って、同じように状態を表わす。

- ①優劣：優れる 劣る
- ②形：とがる そびえる 曲がる
- ③状態／性質：汚れる 壊れる さびる ぬれる 澄む 濁る 含む 似る
- ④着衣：かぶる かける 着る 履く はめる

上から適当な動詞を選んで、「～ている」または「～た」の形に直して（ ）に入れましょう。

- 34 彼は（優れた）成績で大学を卒業した。
- 35 先の（とがった／とがっている）鉛筆で書いたほうが、きれいな字が書ける。
- 36 雲一つなく（澄んだ／澄んでいる）青い空が美しい。
- 37 ドライヤーで（ぬれた／ぬれている）髪を乾かす。
- 38 昨日君によく（似た／似ている）人を町で見かけた。
- 39 あの眼鏡を（かけた／かけている）男性はだれですか。

教師用マニュアルで答えを確認すると、「ている」と「た」両方が使えないのは、例文34のみでその他35から39までは「ている」も「た」も（現在の状態を表わし）使えるとしている。

### 3-3-4 『文化中級日本語Ⅰ』

第6課では文型の1つとして「名詞修飾（～ている／～ていた）」という項目を立てているが、以下のとおり初級の扱いの域をでていない。

- 40 私が今勤めている会社は、小さな貿易会社です。
- 41 今この学校で勉強している留学生は、全部で25人です。
- 42 私が今住んでいるマンションは、5年前に買ったものです。
- 43 私が20年前に勤めていた会社は、小さな貿易会社でした。
- 44 私が昔通っていた学校で、今私の子供が勉強しています。

- 45 留学していた一年間は日本語がどんどん伸びましたが、帰国したらまた元に戻ってしまいました。

同練習帳には以下の例がある。

- 46 ソニーによって開発されたウォークマンは爆発的に売れた。  
47 今朝行ったスーパーに勤めている山田さんから電話がかかってきた。

### 3-3-5 『みんなの日本語中級Ⅰ』

この教科書においても、修飾節という用語は使われず、第8課の文法項目に「～た～」と入っているだけである。

- 48 白いシャツを着て、眼鏡をかけた男の人は山田さんです。  
49 駅の近くに壊れた自転車がずっと置いてあります。  
50 [タワポンさんの部屋はどこですか]  
…あのカーテンの閉まった部屋です。

また『日本語中級 J501』同様、「ている」と「た」の使用を問う問題があり、次の例文が挙げられている。( ) 内は正解として解答に示されているものである。

- 51 松本さんはあの緑色のセーターを(着ている・着た)人です。  
52 カリナさんが(着ている)シャツはデザインがとてもすてきです。  
53 左手に大きな封筒を(持っている・持った)男の人が山田さんです。  
54 ワットさんがいつも(はいている)靴はイギリス製だそうです。  
55 昨日、わたしと同じデザインの眼鏡を(かけている・かけた)人を見ました。

その他、『みんなの日本語中級Ⅰ標準問題集』には以下がある。

- 56 眼鏡をかけた女の人があります。  
57 壊れた自転車をもらいました。  
58 開いた窓から風が入ってきます。  
59 割れたガラスで指を切ってしまった。  
60 鍵がかかった部屋から音がします。  
61 切手をはった封筒があります。

### 3-3-6 その他

総合教科書ではないが、参考書『中級日本語文法要点整理ポイント 20』では、一課分を割いて「名詞修飾」が取り上げられ、「状態を表す「～ている」は「～た」で置き換えられます。(動作を表す「～ている」は置き換えられません。)」と説明されている。例文の一部は以下のとおりである。

- 62 A：山へはだれといっしょに行くんですか。  
 B：まだいっしょに行く（人）は決めていません。
- 63 A：今度の展示会には 100 万円ぐらいかかりました。  
 B：今度の展示会にかかった（お金）はだれが払うんですか。
- 64 A：先生は何時から何時まで学校にいらっしゃいますか。  
 B：わたしが学校にいる（時間）は決まっていないますよ。
- 65 A：この花は珍しいですね。どこへ行けば見られますか。  
 B：わたしはこの花が／を見られる（所）を知っています。  
 今度いっしょに行きましょう。
- 66 A：来週、CDプレーヤーを返しに行ってもいい？  
 日にちはまだわからないけど。  
 B：いいよ。じゃ、うちへCDプレーヤーを返しにくる（日）が決まったらケータイに電話して。

「ている」と「た」の使用を問う問題では次の例文が挙げられている。（ ）内は正解として解答に示されているものである。

- 67 (汚れている・汚れた) シャツは早く洗いなさい。
- 68 歌を(歌っている)人はまり子さんです。
- 69 あそこに(立っている)人はだれですか。
- 70 ああ、あの方は歴史を(教えている)中山先生です。
- 71 いえ、あの白いシャツを(着ている・着た)男性ですよ。
- 72 ああ、ジーンズを(はいている・はいた)男ですか。あれはぼくの兄です。
- 73 お兄さんは穴が(あいている・あいた)ジーンズが好きなんですか。
- 74 流行なんですよ。あれは田中先生からのプレゼントで、兄が大切に(している)ジーンズなんです。

75 田中先生はいつもかわいいぼうしを（かぶっている）でしょう。

76 ええ、リボンが（ついている・ついた）すてきなぼうし。

あのぼうしはぼくの兄がプレゼントしたんです。

以上、連体修飾節を扱っている教科書の例文を見てきたが、その説明を明確に記している教科書はなく、教師の説明にゆだねられていると言ってもおかしくないほどである。

## 4. 日本語教師アンケート調査

連体修飾節を扱う中級の教科書も少なく、また教科書で取り上げているとしても説明が少ない現状を踏まえ、実際に日本語教科書を取り扱う日本語教師は、連体修飾節を同じように捉え授業を行っているのか疑問が生じ、これまで出てきた例文を使用しアンケート調査を実施した後、現状把握を試みることにした。

### 4-1 アンケート実施

3-3で確認した中級レベルの教科書で扱っている例文に対し、現職の日本語教師10名を対象に、状態を表す「ている」を「た」で置き換えた例文をどうとらえるか2018年11月9日から11日にかけてアンケート調査を行った。アンケート方法は紙面に書いていただく形で、条件としては深く考えすぎずに直感で答えていただけるようお願いした。質問内容は以下のとおりである。

質問：

- 1 眼鏡を（かけている・かけた）女の人があります。[例 56]
- 2 昨日、わたしと同じデザインの眼鏡を（かけている・かけた）人を見ました。[例 55]
- 3 （壊れている・壊れた）自転車をもらいました。[例 57]

- 4 駅の近くに（壊れている・壊れた）自転車がずっと置いてあります。  
[例 49]
- 5 [タワポンさんの部屋はどこですか]  
…あのカーテンの（閉まっている・閉まった）部屋です。[例 50]
- 6 （開いている・開いた）窓から風が入ってきます。[例 58]
- 7 （割れている・割れた）ガラスで指を切ってしまった。[例 59]
- 8 鍵が（かかっている・かかった）部屋から音がします。[例 60]
- 9 切手を（はってある・はった）封筒があります。[例 61]
- 10 （汚れている・汚れた）シャツは早く洗いなさい。[例 67]
- 11 いえ、あの白いシャツを（着ている・着た）男性ですよ。[例 71]
- 12 ああ、ジーンズを（はいている・はいた）男ですか。あれはぼくの兄です。  
[例 72]
- 13 お兄さんは穴が（あいている・あいた）ジーンズが好きなんですか。  
[例 73]
- 14 ええ、リボンが（ついている・ついた）すてきなぼうし。あのぼうし  
はぼくの兄がプレゼントしたんです。[例 76]
- 15 先の（とがっている・とがった）鉛筆で書いたほうが、きれいな字が  
書ける。[例 35]
- 16 雲一つなく（澄んでいる・澄んだ）青い空が美しい。[例 36]
- 17 ドライヤーで（ぬれている・ぬれた）髪を乾かす。[例 37]
- 18 昨日君によく（似ている・似た）人を町で見かけた。[例 38]
- 19 着物を（着ている・着た）人形が落ちていた。[筆者作例]
- 20 レインコートを（着ている・着た）犬を散歩させていた。[筆者作例]

なお、教科書では、質問 1,3,6,7,8,9 に関して、単純に「た」に置き換えさせる形の練習だったため「ている」が正しいかどうかの記述がない。また、教科書に正答があっても、その説明がないので、教科書内に記された答えが正しいとも言い切れない。

## 4-2 結果分析

アンケートの被験者は40代から60代の現職日本語教師10名である。それぞれの日本語教授歴を表の名前の横の( )内に記した。以下のとおり、「ている」のみを使用する(「た」を使うと違和感がある)という回答には△、「ている」「た」共に使用すると回答したものを○、さらに「ている」を使用することに違和感があると回答したもの(「た」のみ使用する)は×で示した。また、条件付きで「た」を使用するという回答には#を、回答を迷い?がついていたものはそのまま?を記した。設問9に関しては、助詞の指摘をする方が3名いた。全体に、文脈がない中で解答するのは困難であったとする声が多かったが、今回の調査は教科書を正確に分析するため情報は追加せず、教科書の記述どおりの設問とした。

調査の結果、10名の教師全員が完全に同じ考えを示した例文が1つもなかった。全員が15年を超える教授歴をもっているも、連体修飾節のうち、状態を表す「ている」を「た」で置き換えた例文に対する解釈が異なることが明らかになった。質問15から18(例文35から38に同じ)は『日本語中級J501』の教師用マニュアルにおいて「ている」も「た」も使えるとされているが、アンケートでは質問16に対し8名が「た」のみ使用すると回答した。質問15は2名、質問17は4名、質問18は3名がそれぞれ「た」のみを使うと答えている。

教師名 (教授歴年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A (40)	×	○	×	×	○	△	×	○	を	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
B (30)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
C (30)	○	○	○	○	△	○	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
D (29)	○	○	×	×	△	○	×	○	?	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×
E (25)	○	○	×	○	△	○	×	○	○	○	○	△	×	○	○	×	×	×	×	×
F (25)	○	△	△	△	△	△	×	○	を	○	○	△	○	○	○	×	○	○	△	△
G (20)	○	×	△	×	△	△	×	△	○	×	△	△	×	○	○	×	×	×	○	×
H (16)	○	○	×	×	△	○	×	#	を	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○
I (15)	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
J (15)	○	○	×	△	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	×	○	○	×	×
教科書にある答	? た	○	? た	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×						

「正答」が客観的に文法的に断言できるように、動詞の特性やテンス等をさらに詳しく照らし合わせ、調査・分析を続けていく必要があると言える。また、教師Hから「20代の娘の方が両方使用すると答えた率が高かった」というご意見をもらった。これは年代の違う被験者を増やす重要性を示唆していると言えるだろう。

## 5. おわりに

国立国語研究所(1978)において、寺村は以下の問題を課している。

[問48] 次のうち、どの形が正しく(あるいは一番よく)、どの形が誤りか(あるいは不自然か)を示し、なぜそうかを、できるだけ一般的なきまりによって説明せよ。

- (1)トラックは{(a) 曲がりくねる (b) 曲がりくねった (c) 曲がりくねっている} 山道を進んでいった。
- (2) そのの、先の{(a) とがる (b) とがった (c) とがっている} ナイフをとってください。
- (3) 毎朝家の前を、大きな犬を{(a) 連れる (b) 連れた (c) 連れている} 紳士が通る。
- (4) まん中に穴の{(a) あく (b) あいた (c) あいている} 硬貨は何円のですか。
- (5) まん中に穴の{(a) ある (b) あった} 銅貨は何円のですか。

そして以下のような記述がある。

以上の観察から得られる結論は、人によって必ずしも同じではないであろう。しかし、いわゆる現在形が「現在」を、過去形が「過去」を表す、といった単純なことではない、という点では一致するのではないだろうか。

一方、『レベルアップ日本語文法中級』10課「名詞修飾」において、以下のように「テイル形+名詞」「タ形+名詞」どちらを使っても同じ意味になると言い切っている。

- ①ル形+名詞 意味：これからする動作、これから起こる変化、習慣を表す

- ②テイル形＋名詞 意味 1：今している動作を表す  
意味 2：変化が終わったあとの状態を表す
- ③タ形＋名詞 意味 1：終わった動作を表す  
意味 2：変化が終わったあとの状態を表す

◆「テイル形＋名詞」「タ形＋名詞」が同じことを表す場合

その人、またはその人が身に着けている物・所有物の状態や、ある物の性質について述べる場合(=②意味 2、③意味 2)、「テイル形＋名詞」「タ形＋名詞」どちらを使っても同じ意味になる。

77 破れている服／破れた服は、もう捨てましょう。

78 このクラスには、めがねをかけている人／かけた人がたくさんいます。

この説明によると、質問 10 から 13 は「ている」と「た」の両方使えるという回答が予想されるが、実際には特に質問 13 で、4 名の教師が「ている」を使うことに違和感があり「た」のみ使用すると回答している。

今回調べた限りでは、状態を表す「ている」を「た」に言い換えることができるかの判断は人によって必ずしも同じではないことが明らかになった。先行研究にあたって、「ている」が「た」で置き換えられる理由を明確に得ることができない。そのあたりも、人によって答えが違うことにつながっていると考えられるかもしれない。また、10 名の日本語教師に対して行った調査にこれだけばらつきが出たことが、教科書で扱うことを避けている原因となっている可能性もある。

とはいえ、日本語を外国語として習う日本語非母語話者にとって、教える側に迷いがあれば理解が困難になり混乱を招くだけである。

学習者が連体修飾節を正しく習得できるよう今後も調査を続け、教師間で統一の見解が出せないものは例文として避け、被修飾名詞の特性や文脈を分析した上で日本語教科書に載せる適切な例文を提案していきたい。

## 参考文献

- 海外技術者研修協会(2000)『新日本語の中級』スリーエーネットワーク  
鎌田修・ボイクマン総子・富山佳子・山本真知子(2012)『生きた素材で学ぶ新中級から上級への日本語』The Japan Times

- 金田一春彦（1950）『国語動詞の一分類』（金田一春彦編 1976 に所収）
- 金田一春彦編（1976）『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
- 金田一春彦（1988）『日本語新装（下）』岩波新書
- 国立国語研究所（1978）『日本語教育指導参考書 4 日本語の文法（上）』大蔵省印刷局
- 小柳昇（2002）『ニューアプローチ中級日本語 [ 基礎編 ]（改訂版）』語文研究社
- スリーエーネットワーク編（2008）『みんなの日本語中級 I』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク編（2012）『みんなの日本語中級 II』スリーエーネットワーク
- 高橋太郎（2005）『日本語の文法』ひつじ書房
- 寺村秀夫（1975）「連体修飾のシンタクスと意味—その 1—」『日本語・日本文化』第 4 号、大阪外国語大学研究留学生別科（寺村秀夫 1993 に所収）
- 寺村秀夫（1977）「連体修飾のシンタクスと意味—その 3—」『日本語・日本文化』第 6 号、大阪外国語大学研究留学生別科（寺村秀夫 1993 に所収）
- 寺村秀夫（1992）『寺村秀夫論文集—日本語文法編—』くろしお出版
- 寺村秀夫（1993）『寺村秀夫論文集—言語学・日本語教育編—』くろしお出版大阪外国語大学研究留学生別科（寺村秀夫 1993 に所収）
- 土岐哲他（2001）『日本語中級 J501—中級から上級へ—（改訂版）』スリーエーネットワーク
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（2015）『中級日本語上』凡人社
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（2015）『中級日本語下』凡人社
- と友松悦子・和栗雅子（2007）『中級日本語文法要点整理ポイント 20』スリーエーネットワーク
- 日本語教育教材開発委員会編（2007）『学ぼう！にほんご中級』専門教育出版
- 平井悦子・三輪さち子（2007）『中級を学ぼう中級前期』スリーエーネットワーク
- 平井悦子・三輪さち子（2009）『中級を学ぼう中級中期』スリーエーネットワーク

文化外国語専門学校編（2004）『文化中級日本語Ⅰ（第2版）』文化外国語  
専門学校

文化外国語専門学校編（2014）『文化中級日本語Ⅱ（第2版）』文化外国語  
専門学校

許明子・宮崎恵子（2013）『レベルアップ日本語文法中級』くろしお出版

松田浩志他（2004）『テーマ別中級から学ぶ日本語（改訂版）』研究社

質問：例のように○をつけてください。

	「ている」のみ	「た」も使う	コメント
例1：松本さんはあの緑色のセーターを（着ている・着た）人です。	○	○	
例2：カリナさんが（着ている・着た）シャツはデザインがとてもすてきです。	○		
1 眼鏡を（かけている・かけた）女の人があります。			
2 昨日、わたしと同じデザインの眼鏡を（かけている・かけた）人を見ました。			
3 （壊れている・壊れた）自転車をもらいました。			
4 駅の近くに（壊れている・壊れた）自転車がずっと置いてあります。			
5 [タワボンさんの部屋はどこですか] …あのカーテンの（閉まっている・閉まった）部屋です。			
6 （開いている・開いた）窓から風が入ってきます。			
7 （割れている・割れた）ガラスで指を切ってしまいました。			
8 鍵が（かかっている・かかった）部屋から音がします。			
9 切手を（はってある・はった）封筒があります。			
10 （汚れている・汚れた）シャツは早く洗いなさい。			
11 いえ、あの白いシャツを（着ている・着た）男性ですよ。			
12 ああ、ジーンズを（はいている・はいた）男ですか。あれはぼくの兄です。			
13 お兄さんは穴が（あいている・あいた）ジーンズが好きなんですか。			
14 ええ、リボンが（ついている・ついた）すてきなぼうし。 あのぼうしはぼくの兄がプレゼントしたんです。			
15 先の（とがっている・とがった）鉛筆で書いたほうが、きれいな字が書ける。			
16 雲一つなく（澄んでいる・澄んだ）青い空が美しい。			
17 ドライヤーで（ぬれている・ぬれた）髪を乾かす。			
18 昨日君によく（似ている・似た）人を町で見かけた。			
19 着物を（着ている・着た）人形が落ちていた。			
20 レインコートを（着ている・着た）犬を散歩させていた。			

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

- お願い：・時間をかけず、直感でお答えください。  
 ・コメント欄には、「条件付きで使用する」等自由記入でお願いいたします。  
 ・「た」の使用に違和感がある場合「ている」のみに○をつけ、「ている」の使用に違和感がある場合はコメント欄にご記入ください。